

暑い→(すぐに)冷房設備設置でいいのでしょうか

こどもの体に与える影響・地球温暖化への影響を考慮して、まず、何らかの工夫を行うべきだったのではないのでしょうか。



すだれを活用している 小台橋保育園

幼稚園には夏休みがあり、プールがあります。ホールにはクーラーがあり、必要最低限はすでに完備しています。子どもの成長のためには冷房設備はできるだけ使わないほうが安心です。クーラーをふやせば、さらに、気温を上げてしまいます。木陰をふやす、水の流れをつくる、風の通り道を確保する、打ち水をする、よしずを活用、屋上緑化などなど、少しでも気温を下げる工夫をすることがまず、必要であったと思います。子ども達にとってまたとない環境教育のチャンスであったかもしれません。

幼稚園の保護者に意見を聞くと、「幼稚園には冷房は不要ではないか」という意見もありました。汐入地域の要望から、文教委員会委員全員の付帯決議で、全区の幼稚園の全室に冷房設備が付けられた訳ですが、それぞれの園の事情もあるのですから、一律に、冷房設備の設置へと安易に予算が使われたことが残念です。



もっと増やそう 子育て交流サロン

子育て中の親子同士の交流と遊びの場＝子育て交流サロンが、ドンボスコ保育園に続き小台橋保育園にも開設され、好評です。月～金 9時半から16時まで。担当の保育士さんも日によっては在室、歌や体操の時間もあります。利用者の自主管理でも運営されています。核家族化のすすんだ時代、区内各所にこのような場所が増えればと願います。また、多様な働き方に対応でき、「ちょっと子どもを預かって欲しい」という声に対応できる場所が必要だと思えます。



広い教室には様々なおもちゃ。食事可。夏にはプールも楽しめる。

荒川区のアスベスト(石綿)取り組み状況

7月26日対策本部を設置

今後は、区所有施設等の「吹きつけアスベスト」調査(対象200施設・希望する私立幼稚園・保育園も含む)を行い、10月から、必要な施設に対して対策を開始する。

1987年の調査では、30施設を確認し、囲い込み(板材で囲う)・封じ込め(表面固化処理や内部浸透処理などで固定)を行い、その後の施設解体(7施設)時には対策を講じたという。現在使用されている施設は23施設(小学校12校・中学校4校など)。

街中の解体工事で、必要な場合は、工事を一時中止して検査を行うよう、環境課で検査機関を紹介している。

尾竹橋公園のダイオキシン・・・その後

昨年7月、区が毎年行っているダイオキシン調査により、尾竹橋公園でダイオキシンが発見された。とりえず、公園内の土壌をアスファルトで覆って固定。原因究明には、さらに川底の深さまで調査を行う必要があり、9月議会にそのための予算が提案される予定。